

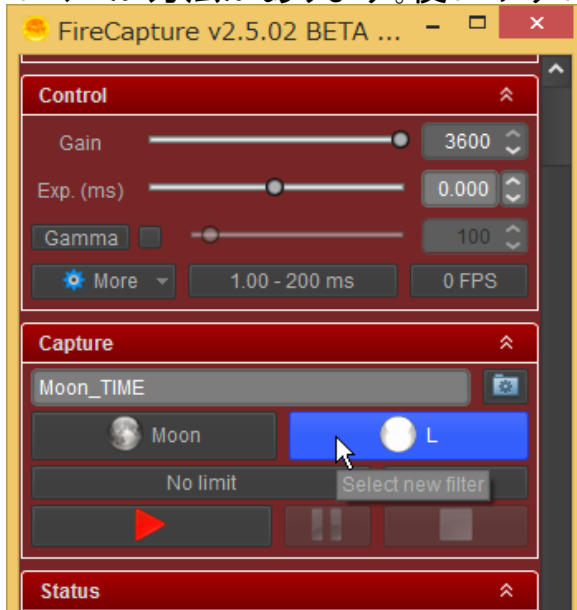
XAGYL フィルターホイール FireCapture セットアップ

(資料作成時: FireCaptureバージョン2.5Beta)

1) 電動フィルターホイールの設定を行います

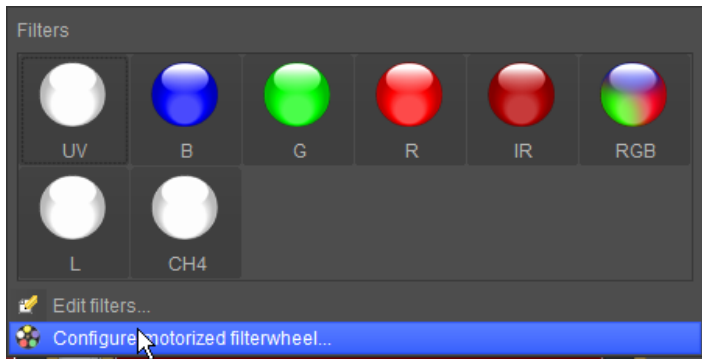
「Motorized Filterwheel」画面を開きます

いくつか方法があります。使いやすいパスで開いてください

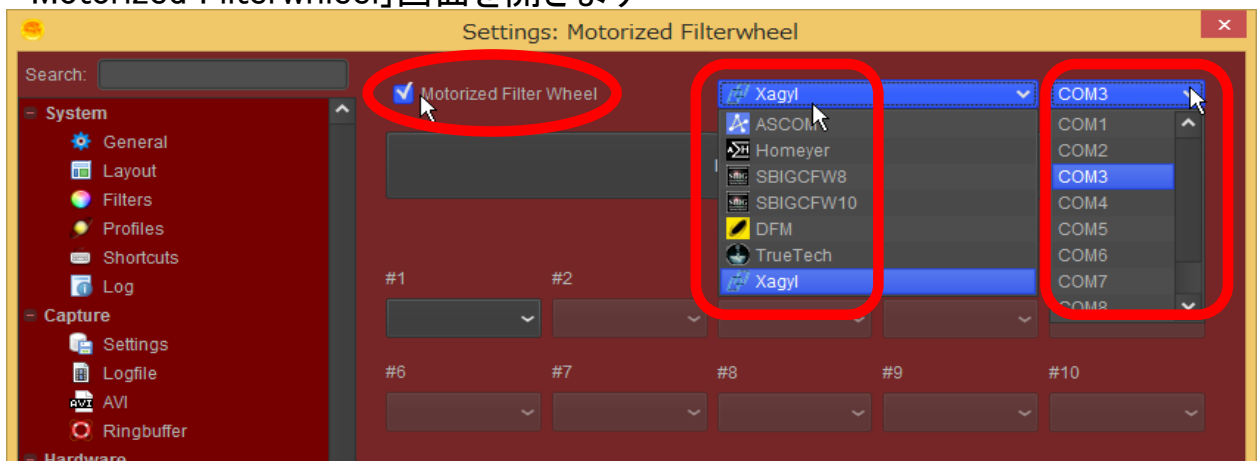


コントロールパネルからフィルターアイコンをクリックします

デフォルト設定されているフィルターが表示されます。その下端の「Configure motorized filterwheel」をクリックします



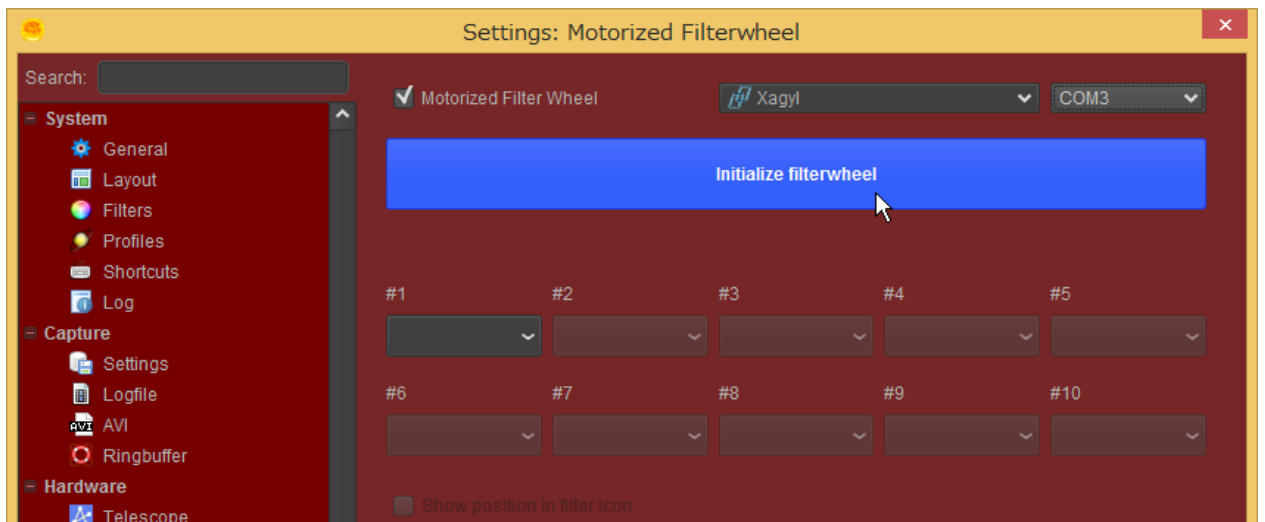
「Motorized Filterwheel」画面を開きます



「Motorized Filter Wheel」にチェックを入れます

フィルターホイールの種類を選ぶドロップリストから「Xagyl」を選択します

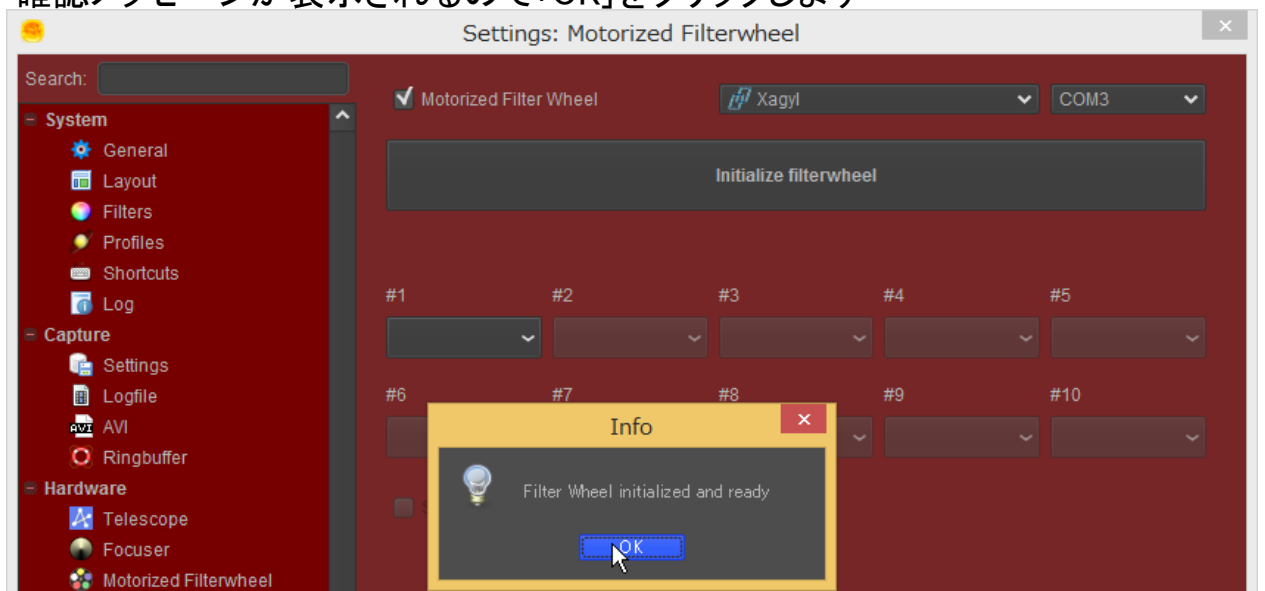
デバイスマネージャーで確認したCOMポートを選択します



「Initialize filterwheel」をクリックします

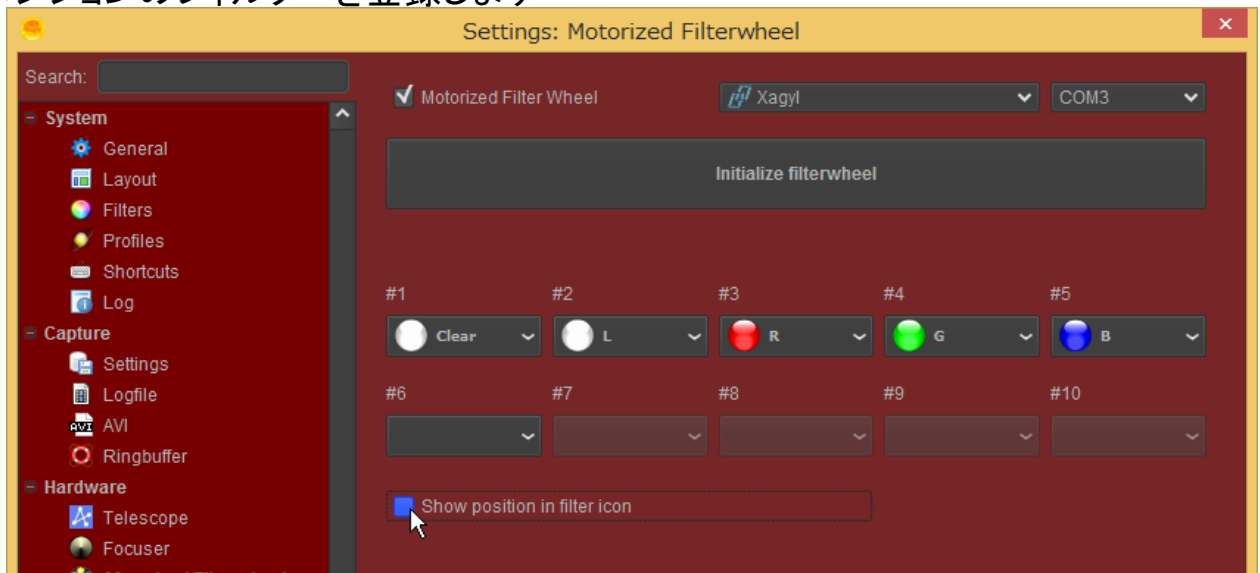


確認メッセージが表示されるので「OK」をクリックします

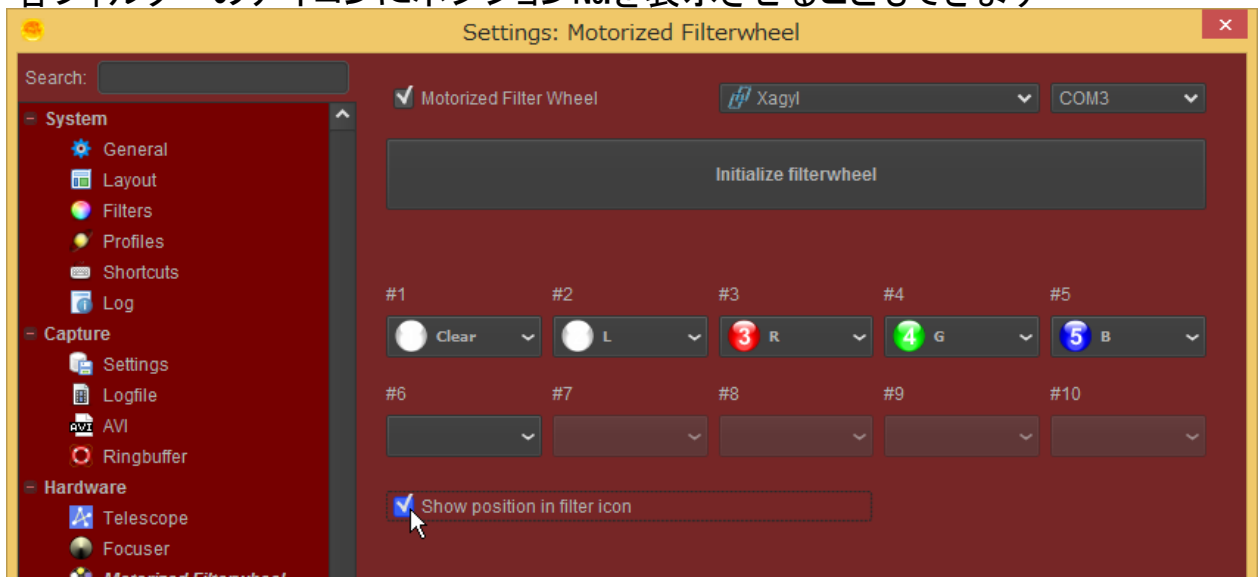


問題がなければ正常終了を示すメッセージが表示されます

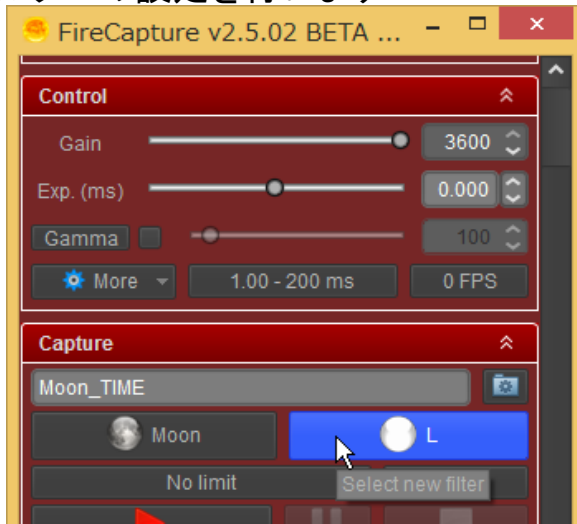
2) 各ポジションのフィルターを登録します



各フィルターのアイコンにポジションNo.を表示させることもできます



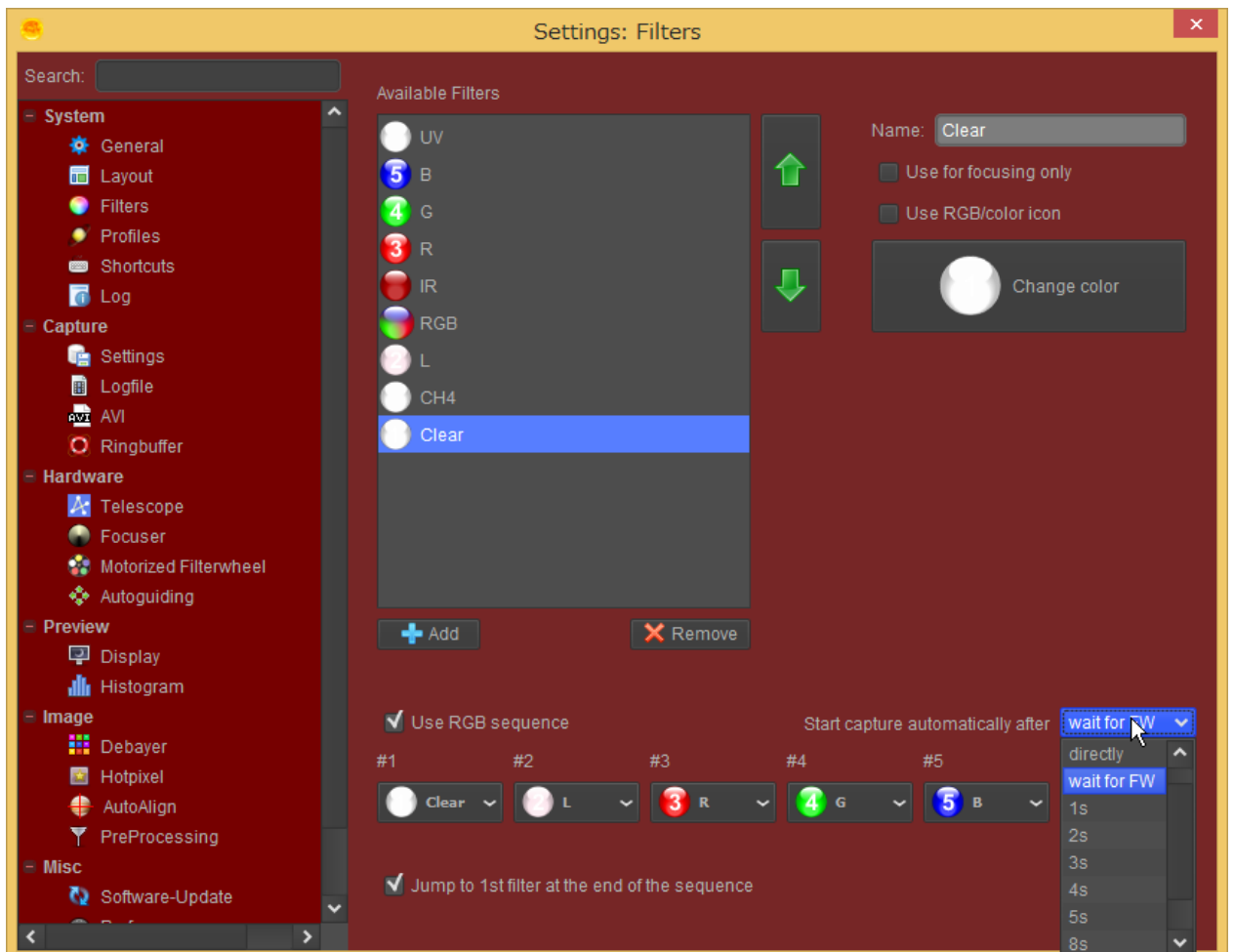
3) フィルターの設定を行います



コントロールパネルからフィルターアイコンをクリックします



デフォルト設定されているフィルターが表示されます。その下端の「Edit filters」をクリックします
電動フィルターホイールが設定されているので「Configure motorized filterwheel」は表示されません

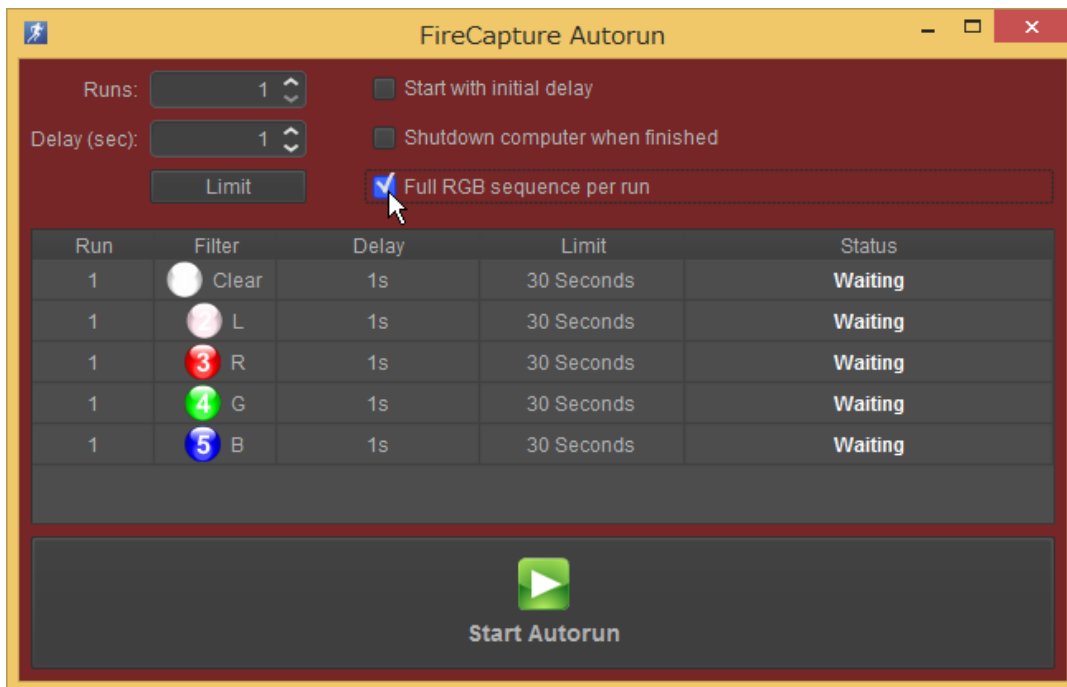


フィルターホイールと連動するときの設定を定義します

4) 自動撮影実行時のフィルター順に反映させます



プレビューウィンドウから「Autorun」アイコンをクリックします



「Runs」 繰り返し回数

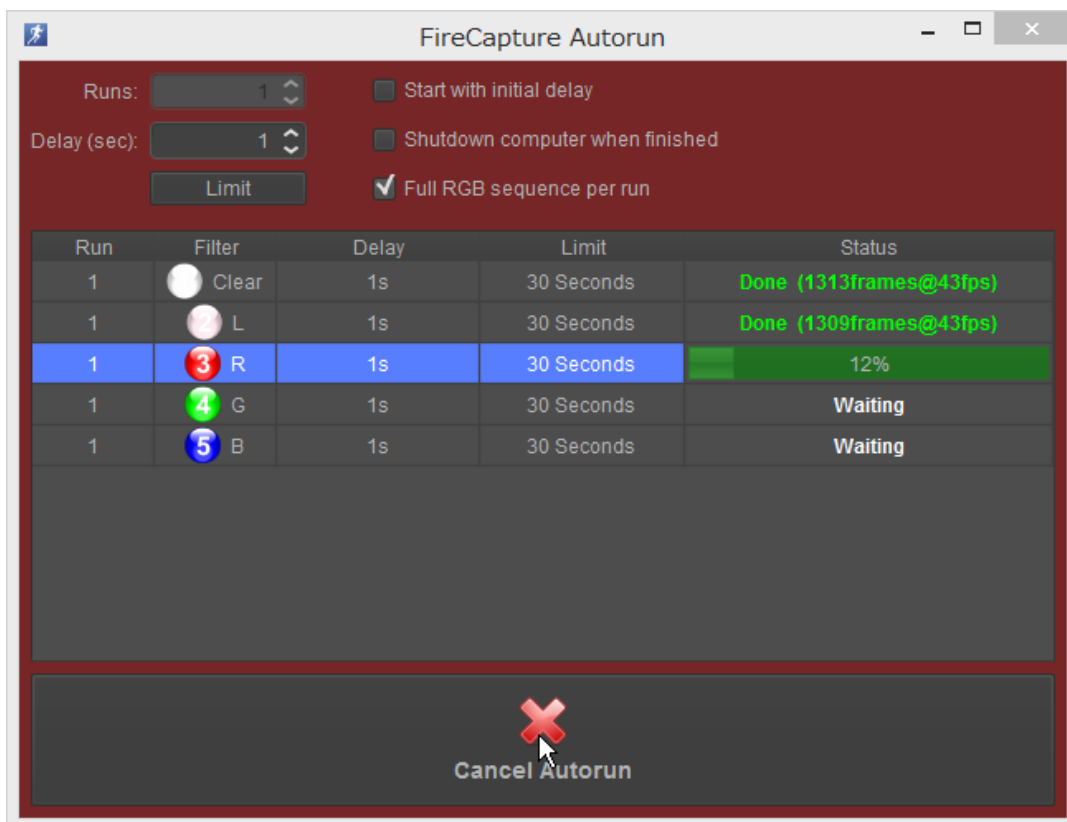
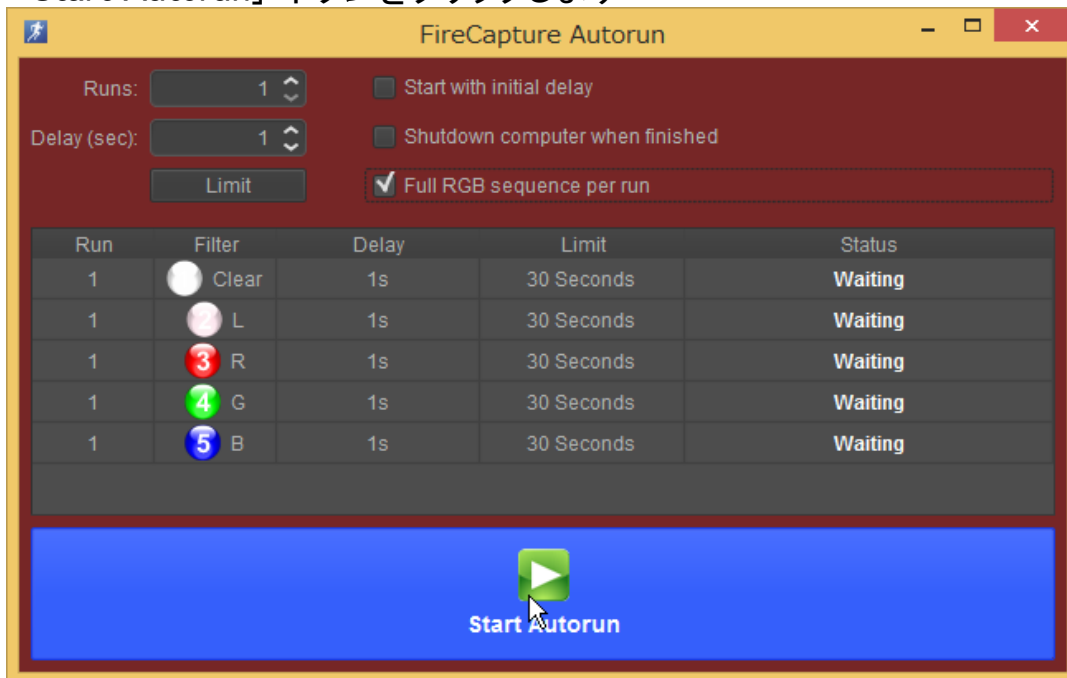
「Delay(Sec)」 フィルター移動と露出の間隔

「Limit」 露出時間

「Full RGB sequence per run」 このチェックでフィルターホイールのセットを一回分として繰り返すことができます

5) 自動撮影の実行

「Start Autorun」ボタンをクリックします



途中経過が表示されます

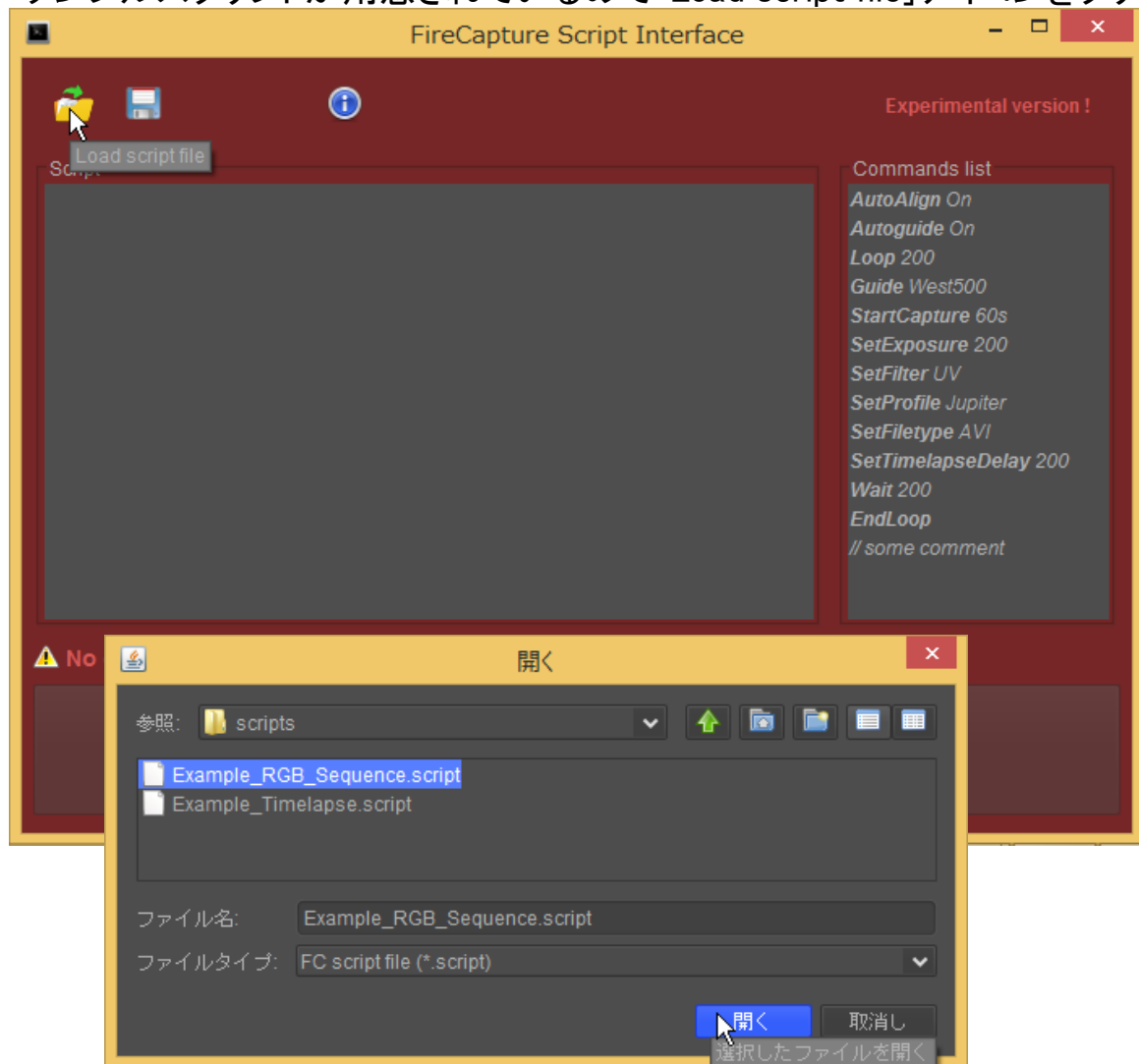
6) スクリプトによるフィルター制御

プレビューウィンドウから「Script-Interface」アイコンをクリックします

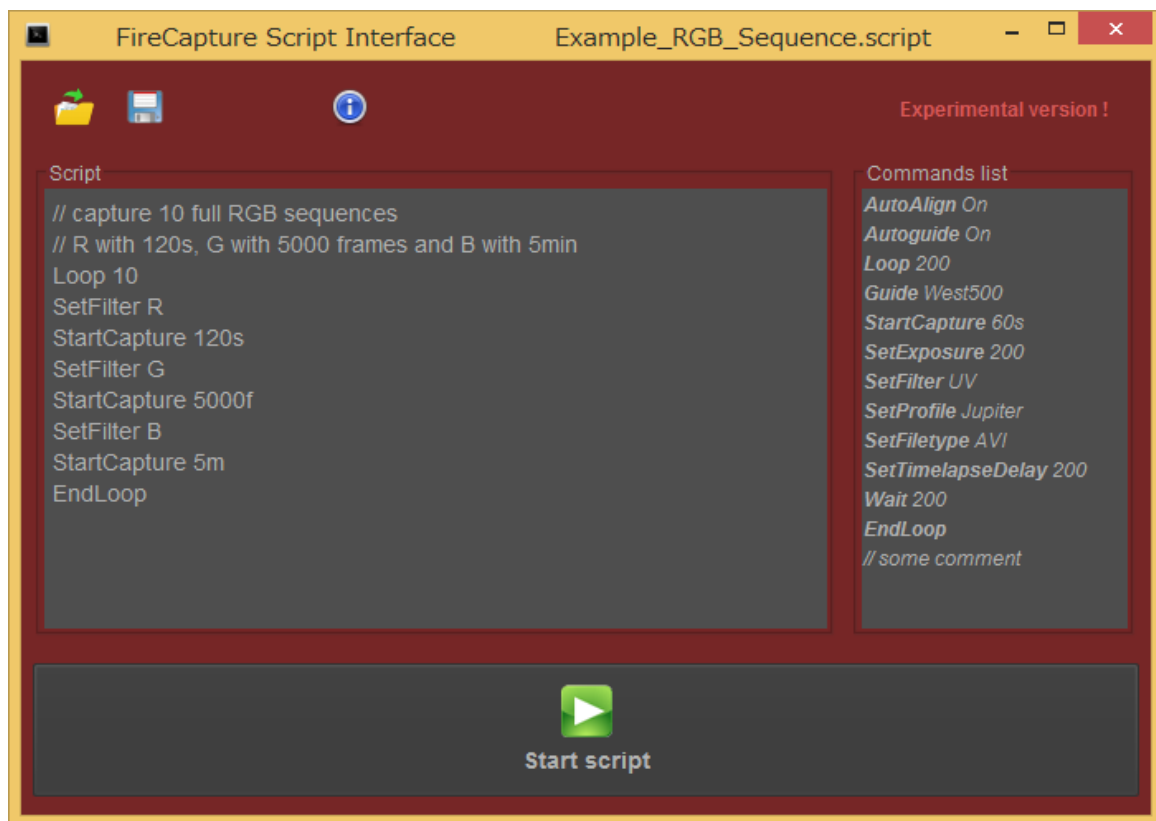


スクリプトエディター兼実行画面が表示されます

サンプルスクリプトが用意されているので「Load script file」アイコンをクリックします



RGBのサンプルファイルを開きます



スクリプトエディターの右にコマンドリストが用意されているので、これを使ってきめ細かなフィルターワークを実現することができます。

LRGB → LRGB → LRGB だけでなく

LLL → RRR → GGG → BBB というような撮影順も実現可能です